

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol.80
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

徳島市市民活力開発センターとは？

徳島市市民活力開発センター（市活センター）ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新町川を守る会が運営しています。

開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

休館日

月曜日 ※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日
年末年始・お盆

連絡先

〔TEL〕 088-611-3886

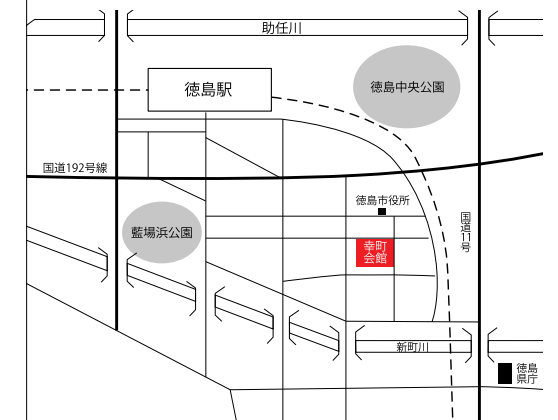
〔FAX〕 088-624-3860

〔mail〕 npshimin@fm.nmt.ne.jp

〔HP〕 www.tokushima-shikatsu.com



ACCESS MAP



所在地
〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

お車で越しの方
当センターの駐車場(1台分)もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

バイク・自転車でお越しの方
センター東側の駐輪場をご利用ください。

CAPとくしま



センター長 岸田 侑

助成金申請のサポートや、NPOと行政、NPOと若者とのマッチングなどに注力しています。ぜひご利用ください。



スタッフ 長谷川 隼

広報誌や会計事務を主に担当しています。会議室や機材の利用、お悩み相談でも、いつでも気軽にお越しください。

PASSPORT.

発行月：2022年1月 号数：80号 発行：徳島市市民活力開発センター
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市市民活力開発センター（088-611-3886）までご連絡下さい。

イベント情報大募集！！

PASSPORT.への掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市市民活力開発センターの掲示板へ配置させていただく情報を随時募集しております。「取材に来てほしい!」「こんなイベントするよ!」といったお声をお待ちしております!!



徳島市陸上競技協会

とくしま市活センター



子どもへの暴力防止 権利について学び合う

子どもの権利って
知ってる？

2022年1月10日、ときわプラザにて『CAPとくしま』がイベントを開催。佛
教大学准教授の長瀬政子さんを講師として招き、子どもの持つ「権利」について
学び、考え合うワークショップを行いました。

対話を通して

新型コロナウイルスの感染拡大により、
社会は一変した。マスクの着用が当たり
前になり、働き方も改革され、旅行や飲
み会といったことも開催しにくい状況
が続いている。きつと多くの大人が「我
慢」を強いられつつ、この環境に適応し
てきたことだろう。そんな中で、子ども
の権利は置き去りにされがちだと、長
瀬さんは言う。長瀬さんが出版してい
る絵本「きかせてあなたのきもち 子ど
もの権利について」(ひだまり舎)
では、様々な子どもの「感情」が柔ら
かな絵のタッチで描かれており、どんな
感情を抱いているのか、何を不安に思っ
ているかなど、子どもの心に向き合え
るような内容となっている。子どもが持
つ権利について「あなたはいったって、
自分の気持ちや考えを言ってい」と、
真つ直ぐに訴えかけてくれる。長瀬さ
んの「気持ちは、子どもの権利が守られ
ているかどうかを知る方法」という言
葉が、とても印象に残った。

長瀬さんの講座では、参加者同士が意
見を交わすグループワークの時間が設
けられていた。ちょっとしたアイスブレ

イクで参加者をグループ分けした後、
コロナ禍における子どもや自分たちに
ついて気持ちを伝え合う。参加者同士
の話の中で、共感できる話もあれば新
たな気づきとなることもあったよう
で、話は大いに盛り上がっていた。講座
で取り扱っている題材は「権利」とい
うことで非常に堅苦しい印象を持って
いたが、長瀬さんの話も、講座の内容
も、そして運営をするCAPとくしま
のメンバーの雰囲気も相まって、非常
に居心地の良い学びの空間になっていた。
海外では子どもと感情について語り合
うような絵本があったり、様々な家庭
の形があることを理解できるような絵
本があったりと、子ども自身が学んだ
り、家族と対話の機会をつくれるよう
なものが存在するという。コロナ禍に
おいて子どもたちが益々自分の感情を
出すことが難しくなっている現在、「子
どもたちの声を聴く」という「対話」
はより一層重要なことになっているの
だと、長瀬さんは言った。

CAPとくしま

このイベントを主催した『CAPとく
しま』は、設立から23年目を迎える団体
だ。代表を務めるのは日下智賀子さん、

そして運営に関わるメンバーの多くは
設立初期から組織を支えているベテラ
ンたちだ。CAPとは、Child
Assault Prevention子ど
もへの暴力防止の頭文字をとったもの
で、子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・
痴漢・性暴力など様々な暴力から自分
の心とからだを守る暴力防止のための
予防教育プログラムのことだそう。だ。
CAPとくしまでは、日本のCAPセ
ンター・JAPANである『CAPセ
ンター・JAPAN』と協働しながら、徳
島でのCAPプログラムの普及に努め
ている。日下さんが、冒頭に述べたイベ
ントの講師である長瀬さんに出会った
のは、そのCAPセンター・JAPAN
が開催した講座だったとのこと。そこ
で長瀬さんの話を聞き、「これは絶対徳
島に呼びたい!!」と思い、徳島でのイベ
ントが実現されたそう。このように、
CAPとくしまでは、子どもの「安心」
「自信」「自由」を守るための知識や
技術を養う機会を提供しており、講演
等の依頼も受け付けているそう。ま
た、イベントの準備を一緒にしてくれる
仲間も随時募集しているとのことだっ
たので、もし興味がある方はぜひ連絡
してみてほしい。

INFORMATION

CAPとくしま

子どもへの暴力(いじめ・虐待・誘
拐・痴漢など)から自分の心とからだ
を守るための知識や具体的な技能
(スキル)を学ぶ機会提供を行う
団体です。

[電話番号]
080-3163-4542

[メール]
captokushima7@gmail.com



blog



Facebook



HP



運動の楽しさを伝え 子どもたちの可能性を育む

すべてに
通じる
基礎を育む

徳島市陸上競技協会では、毎月2回「陸上教室」を開催しています。陸上競技に限らず、身体を動かす楽しさを知ってもらい、様々なスポーツに通じる基礎体力を身に付けることを目的としています。その具体的な活動内容について、代表の竹内さんへお話を伺いました。

関わるのは陸上じゃなくてもいい。陸上は多くのスポーツに通じる基礎的な力を身に着けられるし、サッカーでも、ラグビーでも、広い意味でスポーツを好きになってくれたらと思っています。」会員数は30名程度。中学や高校の先生も参加しており、中には高校生が参加してくれて、教室に通っている子どもたちと一緒に指導にあたってくれることもあるそうだ。

大切にしていること

「例えば、800m走るときとかには、子どもが一人にならないように指導員と一緒に走ったりする。運動が苦手という子どもも当然いるので、歩いてもいいと、ただ前に進むのだけはやっていこうと、そういう気持ちでやっています。」これは竹内さんの言葉だが、子どもたちが少しでも運動を好きになってくれるようにと、寄り添う姿勢が垣間見える。陸上教室は年間で約22回開催されるが、最後には子どもたち一人ひとりに修了証が授与される。単に優秀な成績を収めたことだけが評価されるのではなく、最後まで頑張り抜いたこと、苦手を克服して記録を伸ばしたことなど、その過程も重要視しているそうだ。

やりがいについて

指導員としてのやりがいについて竹内さんに尋ねると、「まず、陸上や身体を動かすことを好きになってくれたら、ほら嬉しいわなあ。卒業後に大きくなって挨拶に来てくれたりする子もおるし、そういうのは原動力になります。」と話してくれた。続けて、「子どもたちの活躍を見ることが楽しい。大会や新聞で活躍している様を見られることもあるし、ああ、頑張りがんやなあって嬉しくなります。子どもも大人も、みんなで一つのことに向けて協力して、頑張っていくという感じも良いですね。」

『徳島市陸上競技協会』の活動は陸上教室以外にも、学校での指導や、陸上大会の審判員を務めることもある。しかし、会員になるにあたっては何か資格が必要というわけではないとのこと。陸上を通して成長する子どもたちの様子を間近で見守ってくれる仲間を随時募集しているとのことなので、興味がある方ぜひご連絡してみしてほしい。

陸上教室の様子

2022年1月22日、「ワークスタッフ陸上競技場」に赴くと、徳島市陸上競技協会による陸上教室が開催されていた。会場を見渡すと、幅跳びや短距離走、砲丸投げ、棒高跳びなど、様々な競技の練習をしている子どもたちの姿があった。陸上教室は5月〜3月にかけて開催されており、小学5年生と6年生が約140人、中学生は約200人が参加しているという。この日は新型コロナウイルスの影響で参加している人数は少なくなっていったが、走ったり飛んだり投げたりと、各々楽しそうに伸び伸びと練習に取り組んでいるように見える。かといって、だらけている様子はなく、それぞれの競技ごとに専門のコーチが付き、的確に指導をしていた。

陸上教室の成り立ち

『徳島市陸上競技協会』が、今の「陸上教室」を始めたのは平成9年のことだという。現代表である竹内さんは、その翌年から会員として活動に参加し続けている。竹内さんは、この陸上教室の目的についてこのように語った。「陸上競技協会やけど、別に将来的にその子どもたちが



INFORMATION

徳島市陸上競技協会

陸上教室の開催以外にも、学校へ陸上競技の指導に赴いたり、陸上大会の審査員を務めたりと、子どもたちが陸上競技を通して活躍・成長するための場づくりに貢献しています。一緒に子どもたちに教えてくれる会員を募集していますので、お気軽にご連絡ください。

H P

【電話番号】

090-4782-8968
(竹内)



NEWS



↑久しぶりの野外イベントに、参加者も運営者も笑顔溢れる一日となりました。

NEWS 01 交通エコライフキャンペーン

令和3年10月30日、あすたむらんど徳島にて「交通エコライフキャンペーン」が開催。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされたため、2年ぶりの開催となりました。当日は、消毒・検温の徹底に加えて入場者数に制限を設けるなど、感染対策を万全に行った上で約500人の親子が参加しました。バスへ絵を描いたり、大学生が運営するバスをモチーフとした様々なミニゲームを堪能するなど、子どもたちが公共交通への愛着を育む場となりました。



↑Creerの職員さまと一緒に記念撮影。子どもたちが安心して通える居場所を作っていけるよう、尽力させていただきます。

NEWS 02 Creer 子ども第三の居場所

『特定非営利活動法人Creer』が2021年10月に「日本財団子ども第三の居場所徳島万代クレール拠点」を開設しました。徳島市の子どもに対して、生き抜く力を育むための学習支援において、必要な体制を整備し適切な事業運営が行えるよう支援するため、徳島市市民活力開発センターも運営に携わっています。

NPO法人と一般社団法人

センターでは団体運営に関する相談をお受けしておりますが、「団体を法人化した方がいいですか？」という質問を受けることがよくあります。今回は、法人化することのメリットや、NPO法人に良く似ている一般社団法人について軽く説明をさせていただきます。



誤認されがちですが「NPO」というのは、任意団体と法人格を持つている団体のどちらの意味も含んでいます。法人化というのは、任意団体が適切な申請手続きを経て法人格を得ることを指します。法人格を持つことによって、団体の信用が得やすくなります。具体的には、補助金や助成金の申請要件を満たすことができたり、審査が通りやすくなったり、寄附金を得やすくなったりというところですね。他にも、法人名義での契約ができたりといったメリットもあります。

Q 法人化ってなに？

Q & A

NPO法人と一般社団法人の違いって？

長谷川隼

元々は行政に勤めていたが、2016年に徳島市市民活力開発センターへ転職。写真撮影や動画制作、ライティングを得意としていたことから、広報誌制作や会計事務を主に担当している。

Q 一般社団法人との違いは？

こちらにも、法人化を考えられているお客様から多く寄せられる質問ですが、NPO法人に似通っている法人として「一般社団法人」というものがあります。一般社団法人には営利型と非営利型が存在し、非営利型にすると税制的にもNPO法人により近いものになります。もちろん申請の手続きや要件、それぞれの法人が持つメリットに違いはありますが、ぱっと見た印象ではなかなか分りにくいと思います。注意しなければならぬのは、一度設立してしまうと、途中でNPO法人から一般社団法人への移行、あるいはその逆も、行うことはできません。法人化の際には、自団体の運用についてよく考える必要があります。

Q NPO法人と一般社団法人のどちらが良い？

正直なところ、団体の運用の仕方によるとしか言えません。実は一般社団法人の方が設立の手続きは簡潔だったりもしますが、初期費用が11万円ほどかかります。対してNPO法人は設立に係る費用はほとんどありませんが、手続きの難易度は上がります。団体の活動の意義や、自主財源で賄うのか、補助金事業を主としていくのかなど、様々な要因を鑑みて結論を出すべきだと思います。そもそも法人格を持つべきなのかというところも、大事な観点です。丁度3月には、これらをテーマとした講座を開催する予定なので、もし興味がある方はぜひご参加ください！



※この写真は平成30年に開催された講座の写真です。